



開倫ユネスコ協会
NewsLetter

第106号

足利市堀込町145 Tel 0284-72-5915

発行者 林 明夫 2016年9月15日

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

平和の鐘を鳴らそう運動

国連総会は西暦 2000 年を「平和の文化国際年」と決めました。ユネスコは、この「平和の文化国際年」を推進する中心的役割を担っております。日本ユネスコ協会連盟は、国際年の意義を広く伝え、人々の心の中にある“平和の祈りと願い”を大きな力へと結集していくために、「わたしの平和宣言」と「平和の鐘（かね・おと）を鳴らそう運動」を継続して実施しております。

開倫ユネスコ協会では、8月10日「平和の鐘を鳴らそう運動」を実施致しました。当日約667名（学生612名・大人55名）の参加者があり、「わたしの平和宣言」を読み上げ、思い思いに音を鳴らしました。

足利市小曾根町の永宝寺では、高木堅持住職から「平和」の大切さについての講話をお聞きしたあと、48名の参加者は平和を祈りながら鐘をつきました。

足利市家富町のぼんな寺では、当協会名誉顧問の上野通子参議院議員から平和の大切さをご自身の貴重な体験談も交えて熱心に語っていただきました。その後34名の参加者は、平和を祈りながら鎌倉時代創建の歴史ある鐘をつきました。

以下で「平和の鐘を鳴らそう運動」の様子が紹介されました。

* 8月31日 **NHKのニュース番組「とちぎ640」**

* 8月11日 **とちぎテレビのニュース番組**

* 8月11日 **わたらせケーブルテレビのニュース番組**



永宝寺の鐘撞き堂の前



開倫ユネスコ協会
林明夫会長



ぼんな寺山越忍隆住職



開倫ユネスコ協会名誉顧問
上野通子参議院議員



平和を祈る参加者(永宝寺)



鐘をつく参加者(ぼんな寺)



鐘撞き堂の前で(ぼんな寺)



「わたしの平和宣言」の読み上げ(永宝寺)



平和について講話を聞く参加者(永宝寺)

関東ブロックユネスコ活動研究会 in 東京

2016年9月3日(土)～4日(日)、青山学院大学において『関東ブロックユネスコ活動研究会 in 東京』が開催されました。

オープニング・イベントとして、パイプオルガン演奏や目黒ユネスコ協会ジュニアクラブによる合唱などがありました。

開会式に続いて、「他者と関わるネットワークを通じた創造への道」というテーマで基調講演がありました。講師は、茂木健一郎氏です。茂木健一郎氏は、脳科学者として多くの研究成果を残す一方、一般向けの書籍も多く執筆し、またテレビ番組や雑誌などのマスメディアでも活躍されています。「関ブロ」でしか聞けない素晴らしい講演を1時間たっぷりとお聞きすることができ、会場の方々は大変に満足そうでした。最後の10分は質疑応答にあてられ、質問者は熱心に聞いていました。

次に、日本ユネスコ国内委員会委員 高尾初江が報告を致しました。また、日本ユネスコ協会連盟からの報告もありました。

その後、5つのテーマで分科会が開催されました。各分科会ともテーマに沿った発表とその内容についての活発な意見交換がなされました。

第1分科会「ユネスコスクールとESDパスポート」

千葉県 / 千葉県ユネスコ連絡協議会、東京都 / 新宿ユネスコ協会

第2分科会「青少年問題と次世代育成」

群馬県 / 太田ユネスコ協会、埼玉県 / 深谷地方ユネスコ協会

第3分科会「世界遺産・未来遺産」

栃木県 / 佐野ユネスコ協会、東京都 / 大田ユネスコ協会・慶応大学ユネスコクラブ

第4分科会「戦争と平和について考える」

栃木県 / 開倫ユネスコ協会、東京都 / 玉川大学ユネスコクラブ

第5分科会「世界寺子屋運動と国際交流・支援」

茨城県 / 土浦ユネスコ協会、千葉県 / 成田ユネスコ協会・富里ユネスコ協会



第4分科会発表
林明夫会長



基調講演
茂木健一郎氏



日本ユネスコ国内委員会
委員 高尾初江



第4分科会



ネパール支援の説明
関田明子事務局



分科会での質疑応答の様子



分科会参加者の皆さん